



【加藤ゼミナール】「小阪サンサンまつり」にて、「おもちゃとりかえっこ」を出店しました。

2018/09/22

2018年9月15日(土)、加藤司ゼミナール3年次生がサンロード小阪商店街(近鉄河内小阪南側)にて開催された「小阪サンサンまつり」に参加しました。

加藤司ゼミナールでは、「小阪をフィールドとしたまちづくりのマーケティング」をテーマに、小阪わいわい協議会をクライアントとして迎え、マーケティングの観点からまちおこしを企画、実践する経験を積むことで、学生が成長する機会とします。

今回は、「小阪サンサンまつり」を通じて、小阪商店街周辺の子供達と触れ合い、地域住民との交流を目的としました。

今回出店した「おもちゃとりかえっこ」は、遊ばなくなったおもちゃを子ども同士で循環させる仕組みの買い物遊びである「かえっこ」に、加藤司ゼミナールバージョンとして新しくアレンジしました。

まず、持って来てくれたおもちゃを受付で「まあまあなもののコーナー」もしくは「なかなかのものコーナー」に分類し、引換券と交換します。その引換券を持って、「まあまあなもののコーナー」もしくは「なかなかのものコーナー」に行き、好きなおもちゃと交換します。「まあまあなもののコーナー」の引換券3枚で、「なかなかのものコーナー」にあるおもちゃと交換することもできます。

また、おもちゃを持って来られない子ども達は、「おしごと」をすると引換券がもらえます。10分間、前方からおもちゃが見えるように、きれいに並べてもらいます。学生がやさしく教えてくれるので、子ども達もあっという間に10分が過ぎて、「もう一度『おしごと』したい!」と言ってくれる子ども達もいました。

なかには、午前中に来てくれて、午後にもう一度来てくれる子ども達もいて、自分が持ってきたおもちゃがなくなっているか、まだ残っているかを気にしていました。

来場者の皆さまには喜んでいただける内容だったのではないのでしょうか。今回の取材にご協力いただきました関係者の皆さま、ありがとうございました。



